

第3号

ほっとほ〜む

<発行> 社会福祉法人 大阪福祉事業財団 高鷲学園 ☎ 072-953-3881 FAX 072-953-3882
 <発行責任者> 園長 瀬川 佳成 Eメールアドレス takawashi@miracle.ocn.ne.jp
 〒583-0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘2丁目6番20号

子どもたちがやぐ年！

あけましておめでとうございます。皆さまには、お元気で新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は念願の新園舎が完成し、高鷲学園にとって記念すべき年になりました。これも皆さまのあたたかいご支援のおかげと感謝しております。

さて、今年の正月風景を少しお伝えします。元日は新年会を開いて新しい年明けをみんなでお祝いしました。ここ数年、正月帰省ができない子どもたちが増え、今年も52人が残りました。不況による影響に加え、親がいても帰ることができない複雑なケースが増えたことが原因です。職員を入れて総勢70人近くがホールに集まり、にぎやかに雑煮やおせち料理をいただきました。その場でお年玉をもらい、昼から初詣や買物に出かけました。

2日・3日にはブロック別で正月行事を実施しました。映画に行つて楽しいひと時を過ごしました。「ウルルの森の物語」「カールじいさんの空飛ぶ家」が人気で感動したようです。

運動場では幼児さんが手作り風を飛ばして遊んでいる姿もありました。

また、3日には恒例の高鷲会が開催されました。卒園生の同窓会のようなもので、もう何十年も続いています。高鷲会会長の和田さん、井上前園長をはじめ20人の方々が集まり、思い出話に花を咲かせました。年代的には幅広く、昭和20年代卒園の方からここ10年の子らまで様々です。アルバム持参で初めて参加された方もおられ、今はない旧園舎を懐かしがっていました。3人の卒園生が子ども連れで来てくれました。在園中に職員を困らせていた子らが自分の子どもを育てていることに、その子の苦労や努力がしのばれ熱いものを感じます。来年はもっとたくさんの人たちが集まれるように呼びかけたいと思っています。

これから3学期、進級や卒業を控えて、施設にとっては一番忙し

い時期に入ります。子どもたちの大切な進路にむけて丁寧に取り組んでいきたいと思えます。

今年も子どもたちの幸せのために、職員一同頑張つてまいります。皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

なお、昨年の秋の叙勲において、総主任の森田由美子が「瑞宝単光章」を受賞しました。長年にわたり施設と子どもたちのために尽くされたことへの賞です。高鷲学園にとつてもたいへんうれしいことです。おめでとうございます。

(園長 瀬川 佳成)



今号の特集

生い立ちの話し合い

今号から特集という形で高鷲学園の取り組みを紹介します。今回は「生い立ち委員会」が中心となって取り組んでいる生い立ちの話し合いについて紹介します。

高鷲学園では、子どもが抱く親への思いや、入所理由を子どもたち自身が自分の言葉で語る取り組みを行っています。

今から18年前、子どもに入所理由を正確に伝え、親への思いを整理していく事で、自立(進路選択)への動機付けのために、さらに仲間の生い立ちを知り、思いやりの心を育んで欲しいという思いから話し合いがスタートしました。

当初は、小学校5年生以上を対象に実施していました。しかし、年々入所理由も複雑になり、思春

期に入ってから事実を知り、動揺し、気持ちを乱す子どももいました。そこで、思春期前の小学校3年生から始めることにしました。

職員との信頼関係を

年に1回、小学校3年生〜高校



3年生までを対象に、年齢や子どもの状況に応じて生い立ちを伝える事にしました。話し合いを始める前には、保護者に説明をし、ケースによっては子ども家庭センターに相談してから子どもに伝えるようにしています。

子どもたちが安心して話し合いに参加できるよう、職員は日頃から子どもとの信頼関係を大切にしています。

話し合いに参加するに当たって子どもたちには約束事があります。

- ①話したくない事は言わなくて良い(強制はしない)
- ②仲間の生い立ちを口外しない。
- ③人の話はきちんと聞こう、という事です。

話し合い後は子どもたちが楽しみにしている夕食会があります。同じ学年の仲間と話合ってメニューを決め、協力して夕食を作り、皆で食べます。子どもたちにとってほっこりとした良い時間となっているようです。

親を乗り越える

日々、子どもたちは成長してい

ます。生い立ちの話し合いを通して、自分の言葉で生い立ちを語り、認識を深め、親への気持ちも年々変化し、新たな疑問にも気付くようになります。

卒業して学園を自立していく子どもたちに親を否定するのではなく、親を乗り越え、力強く生きていくって欲しい、負けないで欲しいと強く願っています。

(生い立ち委員会 川島 洋子)



学園ブロック

大泉緑地行事

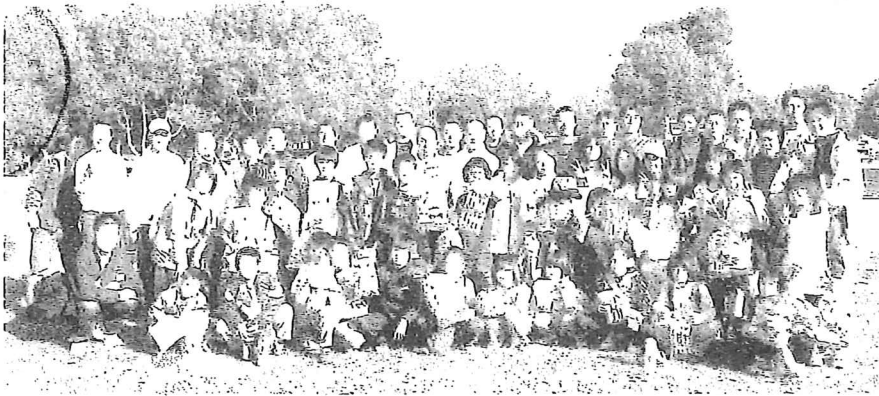
〜ふれ愛〜



（社）松原青年会議所より「ふれあ
い行事」に招待されました。27人
の会員の皆さん、また4人のボラ
ンティアスタッフの方が参加され
て、子どもたちとの交流のため
楽しい時間を作っていただきました。
ありがとうございます。以下は当
会議所からの行事報告です。

なお、当会議所では、この行事
の前に虐待防止のオレンジリボン
運動や児童養護施設等についての
講演会を実施され、会員さんたち
が熱心に勉強されていきました。本
当に有意義な活動をなさっていま
す。

（社）松原青年会議所の青少年育成
委員会が中心となり、11月23日の
祝日に高鷲学園の小学3生から6
年生の児童27名を堺市にある大泉
緑地にお招きしオリエンテーリン
グとバーベキューをしました。



オリエンテーリングでは何度も
下見をし、1時間半〜2時間半程
度の予想でしたが、子どもたちの
あまりの活発さに見事に裏切られ、
1時間かからずにゴールする子ど
もたちも居て、一緒に班を組んだ
大人の私たちが追いつけずこの時
期なのに汗だくになってしまいま

した。午後からはバーベキューを
みんなで食べ、朝のオリエンテー
リングの結果発表をして盛り上が
りました。

今回の行事は松原青年会議所の
青少年事業の一環であり、ふれ
愛と、題を打つてのものでし
たが、これを機にもっと子どもた
ちとのふれ合いを大事にし、地域
の大人としての責任感を持つこと
で私たち青年会議所の理念である
「明るい豊かな町の創造」をより
具体的に行えるのではないかと考
えております。

社団法人 松原青年会議所
理事長 澤井 宏

幼児ブロック

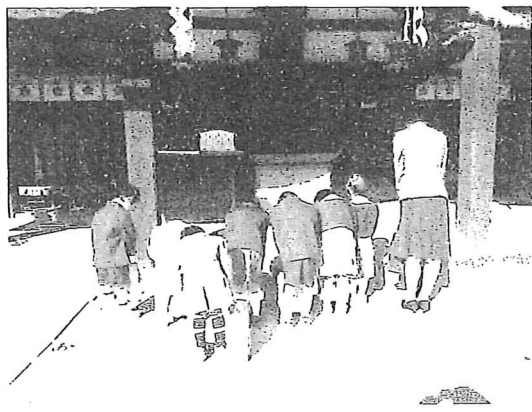
おめかしバッチリ!

七五三参り

トして子ども達はちよっぴり緊張気味。
する時は、思わず「はい」と返事をして
しまう子や嬉しさのあまり笑顔が絶え
ない子などいろいろな仕草、表情を見
ることができてとても良かったです。
同時に子ども達に貴重な経験をさせて
いただき大変感謝しています。

お守りや紙風船、千歳飴等の沢山の
お土産をもらいました。帰園してさっ
そく幼稚園の通園かばんにお守りをつ
けたり、おやつに千歳飴を食べたりし
て七五三気分を存分に楽しみました。

（幼児ブロック 吉迫宣俊）



毎年、藤井寺市にある道明寺天満宮より
近隣の児童養護施設で生活をしている子を
対象とした、七五三招待があります。
今年も11月4日(水)の昼から7名の子ど
も達と出かけてきました。スーツやワン
ピースを身に纏い、髪の毛をばっちりセツ
トして子ども達はちよっぴり緊張気味。
する時は、思わず「はい」と返事をして
しまう子や嬉しさのあまり笑顔が絶え
ない子などいろいろな仕草、表情を見
ることができてとても良かったです。
同時に子ども達に貴重な経験をさせて
いただき大変感謝しています。

クリスマスコンサート

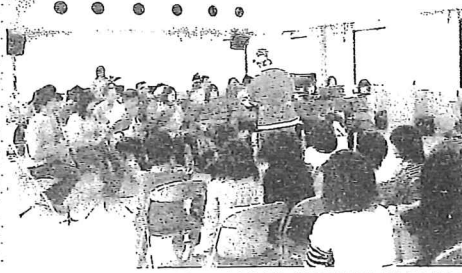
毎年恒例となっているクリスマスコンサートが12月13日に高鷲学園のホールで行われました。

今年も藤井寺市民音楽団の皆さんが来て下さり、色々な曲を演奏してくれました。

「歌ってもいいよ」と差し出されたマイクに戸惑っていた幼児さんも、好きなアニメのテーマソングに大興奮。最後はマイクの取り合いになっていました。

また、「ロコモーション」などの懐メロがかかるのと体を揺らし、リズムに乗って楽しむ職員もおり、高校生は手拍子をして盛り上がっていました。

音楽団の方からは、色々な楽器の説明や音の紹介もあり、生の音楽を体感した子どもたち。とても素敵なクリスマスプレゼントになりました。ありがとうございました。



寄付金・寄贈・招待をいただいた方

(2010年10月〜12月)

ありがとうございました。

(敬称略)

寄付金

道明寺天満宮 Y・A (大阪市)

㈩フリーマーケット123

㈩EBLM・N (大阪市)

国際ソロプチミスト大阪みささぎ

すみれダンス同好会

松原青年会議所ふれ愛有志の会

羽曳野市歳末助け合い運動募金

古久保健ニチャリティーコンペ

寄贈

浅田 満 谷口商事㈱ ㈱互惠メイト

日本出版クラブ ㈱オリンピア製菓

羽曳野市薬剤師会 堀内米穀店

生命保険ファイナンスアドバイザー協会

全国シヤンメリー協同組合 水明堂

㈱チュチュアンナ 新井佑加

荒木照代 ワイエス工機㈱

浅野順一 ミート米澤

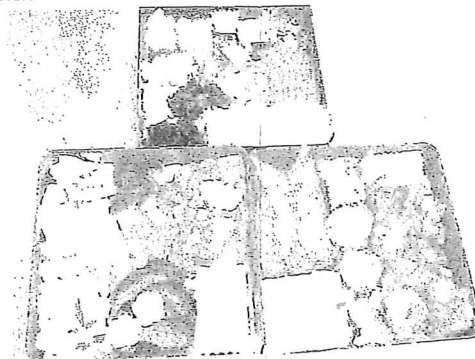
羽曳野市ダルビッシュ児童基金

招待

㈱松原青年会議所 ㈱USJ

調理ブロック

お節料理



師走になると、当園でも大掃除、もちつき、おせち作りと慌ただしくなってきました。私が勤め始めた25年前は、おせち料理と言えばお正月気分には少し寂しかった記憶があります。三が日分に分け普通のお皿に一人ずつ盛りつけていました。それから7〜8年が経ち、子どもたちにお重に詰めたおせち料理を出してあげたい、子どもたちに伝統ある食文化を伝えたいという思いから、重箱を購入し、正月を迎えるようになりました。

今年新しい建物になりました。初めての正月。おせち料理・雑煮・ローストビーフ・有頭エビ・焼鯛で新年を迎えました。子どもたちの健やかな一年を願いたいと思います。(調理ブロック伊与田恵津子)

ほっとひとこと

2010年明けましておめでとございます。暖冬と言われているようですが、年が明けると気温も低く、風の強い日が続いています。子どもたちは、冬休みの宿題をほとんどの子が早々に終え正月気分を味わっています。学園のグラウンドに新たに設置されたミニゴールやバスケットゴール、鉄棒に大喜びで、外に出て元気よく遊んでいます。その姿を見ると「子どもは風の子、元気な子」という言葉が浮かびます。若林康一